

和田真田子

WADA Mayuke

宇宙用の絵画たち

WADA Mayuko 《fly thing 2》 2009

Kcua Open Call Exhibitions

Dessine-Moi Un Mouton

関口正浩 SEKIGUCHI Masahiro



~羊の絵を描いてよ~

京都市立芸術大学

SEKIGUCHI Masahire

2010 「Is next phase coming?」 / 児玉画廊 (京都) 2011 「ignore your perspective 11」/ 児玉画廊(東京) 2011 「Multiplication: Maoya x Masahiro Sekiguchi」/児玉画廊 (京都) 2011「VOCA 展 2011 現代美術の展望―新しい平面の作家たち」/上野の森美術館(東京)

2014 eeny meeny miny moe / redeN arts (京都)

2014 「not a total waste」/児玉画廊(京都) 2014 「油画考 #1 コンセプト、イメージ、画材のコンジャンクション」/ 児玉画廊 | 白金 (東京)

2016 ignore your perspective 35「外見の違うハードコア」/児玉画廊|天王洲 (東京) 2018「Pandemonium」/児玉画廊 | 天王洲(東京) 1985 大阪府生まれ

和

田 真 由

子

2013 「VOCA 展 2013 現代美術の展望一新しい平面の作家たち」/上野の森美術館(東京) 2013「リアル・ジャパネスク: 世界の中の日本現代美術」/国立国際美術館(大阪)

2013 「学芸員からのメッセージ2012 現代絵画の今」/ 兵庫県立美術館 (兵庫) 2015 「月が水面にゆれるとき」 / 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (京都) 2016 ignore your perspective 35「外見の違うハードコア」/児玉画廊「天王洲(東京)

KYOGEI



CENTER



CS sine-Moi Un 2012「四角と不条理」/児玉画廊(東京)

1984 東京都生まれ

2007 京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース卒業

2009「うまく見れない」/児玉画廊(京都)

2011 「反転・回転・反復」/ 児玉画廊 | 白金(東京) 2012 「仮面」/児玉画廊 | 白金(東京)

2018「まばたきのかたち」/児玉画廊 | 天王洲(東京)

2010 「平面B」/児玉画廊(京都)

2014 「遠くの正面」 / 児玉画廊 (京都)

『主なグループ展』

2017 「Warped」/児玉画廊|天王洲(東京)

2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了

2010「ヨットの習作」/児玉画廊(京都)

2013 「火のための枠」/児玉画廊(東京) 2014「分解と統合」/児玉画廊(京都)

2015「ハムレット」/ 児玉画廊 | 白金(東京)

2011 「ignore your perspective 11」/児玉画廊(東京) 2011「As Long As Rainbow Lasts」/ Soka Art Center(台北) 2011 「Good Looking Little Ones」/児玉画廊(京都) 2012 「四角と不条理」/児玉画廊(東京)

2013 「アートがあればII」/東京オペラシティアートギャラリー(東京)

2016「隣人」/児玉画廊(東京) 2017「建物」/児玉画廊 | 白金(東京) 2018「余暇」/児玉画廊 | 白金(東京) 2018 「建物2」/児玉画廊 | 天王洲(東京) 2021「Wandering rocks」/児玉画廊|天王洲(東京)

『主なグループ展』

2011「ドローイングの絵」/児玉画廊(京都) 2013 「ファサード」 / 児玉画廊(京都)

2009 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻油画修了

2012 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程美術専攻油画中退

2012 「project N 49 関口正浩」 / 東京オペラシティアートギャラリー (東京)

テキスト|和田真由子

絵画とは見る人の内で浮くものですが、本来あるべき姿での鑑賞 が達成されることは少ないように見受けられます。反って、支持体

を甘受または愛好し、壁に依りかかることを善しとする姿勢までも

が常態化しています。イリュージョンを共有する装置としては未だ

演劇を追い抜けませんが、「描く+絵具」という身体と物質を視覚

上で統合し、イメージを浮かしめる絵画の本質的有様が実現

かつて、非物質化されたものが最も大切であると説いた者がい

ましたが、極めて的確な先行した絵画論であったと言えます。

「L'essentiel est invisible pour les yeux. 本当に大切なものは

目に見えない*」本展覧会では、非物質のレイヤーが絵画を支えて

いることを指摘する関口、浮いた状態で完成することを見越した

作品を作り続ける和田の2作家に着目し、美術における宇宙時代

の遅すぎた到来を寿ぎ、未来へ向けた議論の場を生成します。

されないのは不本意の極みです。

* "Le Petit Prance" Antoine de Saint-Exupéry, folio 15 mars 2007

字 画

2018 「美術のみかた自由自在: 国立国際美術館コレクション」/福岡県立美術館(福岡) 京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 京都市立芸術大学 C 棟 1F Phone | 075-585-2010 / E-mail | gallery@kcua.ac.jp

Web | https://gallery.kcua.ac.jp

よ

*JR、近鉄、地下鉄京都駅 徒歩6分、京阪七条駅 徒歩10分

2017「立体 卍 平面 卍 空」/児玉画廊 | 天王洲(東京)

*バス「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」バス停下車すぐ



企画支援「逃げ切ったと思うなよ委員会

「逃げ切ったと思うなよ委員会」は、関口正浩作品のアーカイブのための有志グループです。 2024年度は公益財団法人小笠原敏晶記念財団の助成を受けて活動しています。 メンバー「石井海音、佐々木ひろこ、中田有美、松田啓祐、村瀬裕子、和田真由子

上 | SEKIGUCHI Masahiro 《wrapped (warped) 案内状写真》 2017

下 | WADA Mayuko 《horse》 2013 photo: Kodama Gallery